

みやこ市議会だより<sup>N</sup>

# 羅針盤

らしんばん

2024

令和6年

6月議会

No.77



## かたつがせ!

参加して 語って?

～市民が望むまちづくり～

### みんなの議会



## 目次

6月定例会議... 2P

一般質問... 6P

編集後記... 15P

予算特別委員会... 4P

政治倫理審査会... 12P

みんなのラウンジ... 16P

議案審査概要... 5P

議会トピックス... 14P



# 6月 定例会議

## 新型コロナウイルスワクチン予防接種 健康被害給付費を含む一般会計補正 予算など17議案を可決

### 宮古市議会6月定例会議で可決された主な条例・議案などの概要

6月の定例会議	
6月3日~6月18日	
16日間	
予算	6件
条例	6件
その他議案	4件
意見書	1件
請願	1件
一般質問	11人

#### 17件の議案を審議

令和6年6月定例会議は、6月3日から6月18日までの16日間行われ、会議期間中の本会議日数は5日間でした。

などその他の議案4件を可決しました。

また、請願1件を採択し、意見書1件を可決しました。

書提出の請願について

(請願者 岩手県教職員組合 合下閉伊支部支部長 鈴木永輝)

#### 請願の審議

#### 採択

「令和6年度宮古市一般会計補正予算(第3号)5号」などの補正予算6件、「宮古市市税条例等の一部を改正する条例」などの条例6件、「財産の取得に関する議決を求めることについて」

#### 措置

#### 可決した意見書

「宮古市市税条例等の一部を改正する条例」などの条例6件、「財産の取得に関する議決を求めることについて」5年度政府予算に係る意見

○「ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げ」をはかるための2025年度政府予算にかかる意見書



### 討論

6月定例会議では、1件の議案に対し、討論が行われました。討論の概要は次のとおりです。

■議案第2号 宮古市災害資料伝承館新築(建築)工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

#### 反対討論

田中尚 議員

「宮古市災害資料伝承館」はZEB(ネットゼロエネルギービル)として、建物の躯体が当初、木造平屋建て(350㎡)から鉄骨造り(462㎡)に変更されたにも関わらず、3月20日に完成した実施設計図書の内容説明が議案提出直前(5月31日)の議員全員協議会まで説明が無かった。また、施設運営費に2

#### 賛成討論

竹花邦彦 議員

予算特別委員会委員長として新年度の予算審議にかかわってきた立場から原案に賛成する討論を行う。反対討論の要旨は、建物構造・躯体を鉄骨造り平屋建てとすることについて、議会にこれまで説明がなされていない、また木造建築にすべきというものである。

800万円、完成後の建物維持費も不明では策定済みの公共施設適正配置計画とも矛盾し、人口が減少するも将来の住民に財政的負担が懸念される。ソーラーパネルの配置も西側傾斜の屋根に搭載では再エネ電源効率も制約され、次世代太陽電池(ペロブスカイト)の採用等国の政策と一致しない為反対する。

本整備事業に係るこの間の議会説明の中で、木造建築にすべきとの意見があった点は理解している。しかし、2月29日開催の市議会議員全員協議会において、市は鉄骨造平屋建て、ZEB建築物(省エネ・太陽光発電による創エネ)とする方針説明を行っており、議会に説明がないとする指摘はあたらぬ。

また、施設整備に伴う今後のランニングコストについても、現時点で想定される費用や今後の検討課題等について説明がされていると認識する。こうした点を踏まえ、3月議会で本市の本年度当初予算や本整備事業に係る建築工事を議決している。こうした経過で本工事請負契約の締結に至ったものであり、本議案に賛成する。

### 賛否一覧表

令和6年6月定例会議		議決結果																					
		採決方法																					
議員名(議席番号順)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議案番号 議案名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議第2号	宮古市災害資料伝承館新築(建築)工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※採決方法欄の「システム」とは、表決システムによる採決(議員の賛否が議場で明らかになる)

### 一般質問は3日間

一般質問は、6月4日から6月6日の3日間行われ、11人の議員が登壇し、市政の重要課題について質問を行いました。

【関連】一般質問の詳細は6ページからの記事をご覧ください。

なお、審議した令和6年度補正予算の内容は4ページを、審議した議案の内容は、5ページをご覧ください。

▼2025年度政府予算

において、ゆたかな学びを実現する教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げを国に求める意見書です。

(提出者 教育民生常任委員会副委員長 白石雅一)



# 令和6年度

## 一般会計の補正予算を可決

### 道の駅たろうの安全対策工事などを決める

令和6年度宮古市一般会計補正予算は、既に議決している歳入・歳出に、それぞれ5億7,977万2千円を増額し、歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ369億7,923万5千円となります。

#### 【令和6年度】今回補正の主な事業（一般会計）

事業名	補正前の額	事業内容
	補正額	
	補正後の額	
新型コロナウイルスワクチン 予防接種健康被害給付費 給付事業	35万円	新型コロナウイルスワクチン接種による健康被害が厚生労働大臣から認定された方に給付金を支給します。
	4,669万円	
	4,704万円	
道の駅たろう管理運営事業	500万円	駐車場での車輛事故を受けて、道の駅たろうの安全対策工事を早急に実施します。
	500万円	
市民協働推進事業	843万円	一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業助成金の交付決定に伴い、太長根自治会の地域活動備品の購入費用に対して助成金を支給します。
	240万円	
	1,083万円	
小学校維持管理事業	31,277万円	企業版ふるさと納税による寄付金を活用し、防犯カメラが設置されていない小学校12校に、防犯カメラを購入します。
	60万円	
	31,337万円	
中学校維持管理事業	26,731万円	企業版ふるさと納税による寄付金を活用し、防犯カメラが設置されていない中学校9校に、防犯カメラを購入します。
	45万円	
空家対策事業	26,776万円	空家等利活用補助金について、当初の見込みより増えたことから、実績見込により補助金を増額します。
	3,309万円	
	4,709万円	
漁業担い手確保対策事業	2,240万円	漁業担い手の育成の場である宮古水産高校への入学者を増やすため、都市部から地方の魅力ある高校に生徒を募集する「地域みらい留学」制度を活用し、全国から意欲的な生徒を確保するものです。
	188万円	
	2,428万円	
漁港施設災害復旧事業 (令和6年2月低気圧)	300万円	令和6年2月低気圧により被災した宿漁港及び蛸の浜漁港の復旧工事を行います。
	5,000万円	
	5,300万円	

※ 表中の予算額は、1万円未満の端数を切り捨て処理したものです。

## 議案審査概要

今定例会議で各常任委員会に付託された議案の審査概要をお知らせします。

### 総務常任委員会

議案第9号 宮古市一般職の職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

問 助産師を支給対象とした経緯は何か。

答 妊産婦及び子育て世帯の一体的な相談支援を行う機関として、ごども家庭センターを今年4月に発足した。より一層の相談支援体制の強化を図るため、初めて助産師を採用したことに伴い、支給対象に加えようとするものである。

議案第10号 宮古市市税条例の一部を改正する条例

問 申請による減免が原則だが、市長が職権で減免を行うこととした理由は何か。

答 大規模災害時には申請手続きのため、被災者、事務担当者、双方に負担が生じることから、国の通知により、被災前の備えとして、あらかじめ職権による減免を可能とする規定を設けることができることとなった。これを受けて条例改正しようとするものである。

議案第11号 宮古市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

問 この条例改正により、事務処理にあたって何が変わるのか。

答 法改正に伴い所用の改正を行ったもので、法律でマイナンバーの利用が認められている事務に準ずる事務についても利用が可能となった。また、主務省令で定めることにより、情報連携がすみやかに進めるようになる。

### 教育民生常任委員会

議案第12号 宮古市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問 条例を改正する理由は何か。

答 家庭的保育事業等における保育士等の配置基準については、国の基準に従って市町村の条例で定めることとされている。国の基準が改正されたことに伴うものである。

議案第14号 宮古市教育振興基本対策審議会条例の一部を改正する条例

問 審議会の委員に、公募による者を追加する理由は何か。

答 幅広い意見を聞くために加えるものである。

請願第5号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための2025年度政府予算に係る意見書提出の請願について

問 請願事項に、働き方改革・長時間労働は正とあるが、残業手当の代わりに教員に支給される金額のパーセントが引き上げられるという話を聞いた。この待遇について、どのように考えているか。

答 学校現場では、手当のことよりも、忙しくてどうしようもないというところのほうが強い。これを改善するために人数が欲しいということである。(請願者 岩手県教職員組合 下閉伊支部支部長 鈴木永輝)

### 産業建設常任委員会

議案第13号 宮古市手数料条例の一部を改正する条例

問 今回の、この条例改正は、建築基準法の改正に伴うものなのか、それとも宮古市独自の改正なのか。

答 建築基準法の改正に伴うもの。



# 一般質問 市政を問う

## ここが聞きたい



一般質問の内容を動画でご覧いただけます。

- 木村 誠 議員 (宮古創生会) …………… (7)
    - 危険木・支障木を伐採する際の支援について
    - 宮古市墓園の募集要件の見直しについて
    - 施設への音声ガイドの導入について
  - 古 舘 博 議員 (宮古創生会) …………… (8)
    - 防災・火災対応の設備機材について
    - カスタマーハラスメント対策について
    - 新紙幣への対応について
  - 松本 尚美 議員 (無所属クラブ) …………… (7)
    - 木質バイオマスエネルギーの活用について
    - 農業振興について
    - 区界地区の活性化について
  - 小島 直也 議員 (公明党) …………… (9)
    - 宮古市の将来をデザインすることについて
    - 投票率向上について
  - 竹花 邦彦 議員 (立憲・市民クラブ) …………… (8)
    - 市民意識調査の結果から見える課題について
    - 地方自治法改正案について
    - ラ・トリニダット市訪問の目的と成果等について
  - 田代 勝久 議員 (無所属)
    - 急激な時代の変化に対応した種々のリスクリング政策について
    - 本市のエネルギー政策について
  - 田中 尚 議員 (日本共産党) …………… (11)
    - 「消滅可能性都市」への認識と対応について
    - 「廃校」の利活用について
  - 落合 久三 議員 (日本共産党) …………… (11)
    - 水道事業の安定的・持続的発展の要である有収率向上をどのように推進するか
    - 人口減に歯止めをかける企業立地、工場増設を促進し、若者が定住するまちをめざして
- ※田代議員は、本人から一般質問原稿の提出が無いことから、掲載しておりません。田代議員の一般質問の内容は、下記のQRコードから確認できます。



### 宮古市議会の情報をリアルタイムで

- インターネット中継**  
本会議は生中継（ライブ配信）しています。録画中継は、本会議のおおむね5日後（土日祝を除く）から配信いたします。（パソコン、スマートフォン、タブレット端末に対応）
- Facebook**  
宮古市議会のトップページのリンクをクリックしてご覧ください。
- みやこハーバーラジオ (82.6メガヘルツ)**  
定例会議開催中の午前8時10分頃からの放送です。
- 次回9月定例会議**  
9月上旬の開催予定です。会期日程が決まり次第、宮古市議会のホームページトップに掲載します。詳しくは議会事務局におたずねください。(☎68-9113) mail: gikai@city.miyako.iwate.jp



木村 誠 議員

### 質問 危険木・支障木に関して統一した相談窓口の設置を求める

### 答弁 担当部署を横断した統一窓口の設置を検討していく

**問** 危険木・支障木は山林、道路沿い、空き家等の住宅地と場所によって市が担当する部署が異なり、市民にとっては、どこに相談したらよいかわからずそのまま放置されているものが多くあると予想される。そこで、市として統一した相談窓口を設置すべきと考えるが見解を伺う。

**答** 山本市長 担当部署を横断した統一の支援窓口の設置を検討していく。

**問** 危険木・支障木は山林、道路沿い、空き家等の住宅地と場所によって市が担当する部署が異なり、市民にとっては、どこに相談したらよいかわからずそのまま放置されているものが多くあると予想される。そこで、市として統一した相談窓口を設置すべきと考えるが見解を伺う。

**答** 山本市長 担当部署を横断した統一の支援窓口の設置を検討していく。



倒木した際に通行を遮断する恐れがある危険木への支援を

**答** 山本市長 応募要件の緩和については、問い合わせがあることから令和6年度については応募要件を緩和する。

**問** 施設への音声ガイドの導入について

**答** 山本市長 「音声ガイド」は学びを深める取り組みとして評価されていると認識している。今後、先進事例を参考に施設の特徴を考慮した「音声ガイド」の導入について検討を進めていく。



松本尚美 議員

### 質問 林業振興ビジョン実行計画の再構築を

### 答弁 次期ビジョン策定の中で明確にする

**問** 区界地区はイベントだけでは活性化しない

**答** 山本市長 区界地区の活性化には、野外アドベンチャーの拠点展開、農林業の研究施設整備等の投資が必要だ。また、高原野菜の圃場提供など提案する。

**問** 本市より少ない森林面積、資源量の自治体で官民連携が構築され、電熱、カスケード利用がされ、森林の持続可能な管理、林業振興が進んでいる自治体が多い。目標を明確に示したスケールアップした構想に基づく実行計画を策定し、振興プロジェクトとして現行の振興ビジョンを再構築すべきだ。また、目標に挑戦、行動する官民連携プロジェクト、ワーキングチームの立ち上げが必要だ。

**答** 山本市長 現在、現計画の評価、検証しながら令和7年度から11年度を計画期間とした次期「林業振興ビジョン」の策定に着手している。策定にあたって課題や目標を明確にした計画を策定する。官民連携プロジェクトチーム、ワーキングチームの立ち上げは必要と判断した場合設置を検討する。



森林のカスケード利用を

**答** 山本市長 開発を伴うスポーツ、レジャー施設はニーズや効果を見極める必要がある。具体的に検討に至っていない。未利用農地の現状と将来の利用計画を地図化し、利活用や新規参入を促すよう取り組む。





竹花邦彦 議員

### 質問 市民の期待度が最も高い「産業・就労」施策にどう向き合うのか

### 答弁 取り組みの評価・検証を踏まえ「産業立市ビジョン」に反映し実行

■市民意識調査結果をまわす  
「住み続けたいまち」に  
つくり施策に反映を  
昨年実施した市民意識調査結果が公表された。調査結果から見える課題等をまわすつくり施策に反映する必要がある。調査結果では市民が最も期待する施策は産業振興と雇用の場の確保・拡大と指摘できる。市長は「産業立市」、「安定した仕事を持つて子どもを幸せに育てられるまち」を施策の柱に掲げているが、市民の期待と向き合うため、今後の施策にどう向き合っていくのか。

山本市長

この間、産業立市ビジョン実行計画に基づき、活力に満ちた産業振興都市づくりに取り組んでいる。今回の調査結果を見ても、市民の産業振興と雇用に対する関心は非常に高いと捉えている。これ迄の取り組みの評価・検証を踏まえ、令和7年度からの次期・産業立市ビジョン実施計画に反映させ、実施する。

「住み続けたいまち」にするための課題は、定住意向調査では、市民の7割が市内への定住を希望しているが前回より減少した。市民が「住

み続けたいまち」にするための課題と今後の施策を伺う。

暮らしやすくなるために必要なことの調査結果では、医療・福祉の充実が最も多い回答で、次いで働く場の確保、老後の生活・介護の充実の順となっている。年代別では10代から60代の6割が「働く場の確保」が必要と回答している。現施策の成果と効果を検証し、誰もが安定した仕事を持つことができる、各世代が必要とする施策を実施していく必要がある。

山本市長

本市の大きな施策課題となっている「安定した仕事を持って子どもを幸せに育てられるまち」



本市の大きな施策課題となっている「安定した仕事を持って子どもを幸せに育てられるまち」

### 質問 火災対応の設備機材の状況はどうなっているか

### 答弁 ジェットシューター309器・軽可搬消防ポンプ3台配備



古舘博 議員

林野火災においてジェットシューター・軽可搬消防ポンプは有効な資機材である、配備状況と整備計画は。

山本市長

宮古地区48器、田老地区60器、新里地区63器、川井地区138器の計309器、軽可搬消防ポンプが新里地区1台、川井地区2台の計3台だ。定期的に保守点検を行い老朽化している資機材を更新していく。

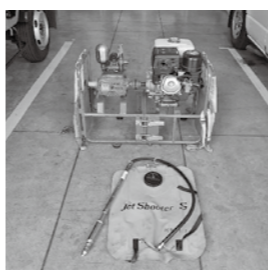
住宅火災警報器は、宮古地区79・1%、田老地区87・5%、新里地区87・5%、川井地区95・8%の設置率で2800余世帯が未設置状態だ。設置率向上に向けた取り組みは。

山本市長

普及活動は春・秋の火災予防運動期間中の全世界帯へのチラシ配布、車両広報、ポスター、のぼりの設置などで周知する。また、消防団、消防署、婦人防火クラブが市民への働きかけにより100%の設置を目指す。

山本市長

令和4年の宮古市内での建物火災は7件あった。初期消火における消火器の有効性は大きいと思うが設置に向けた考え方は。



ジェットシューターと軽可搬消防ポンプ

宮古市職員コンプライアンス条例に基づき組織として厳正かつ毅然とした対応をとる。名札は、他自治体の考え方や職員組合からの意見等を参考に令和7年4月から表記変更に向けて検討を始める。

山本市長

初期消火に非常に有効で各家庭でも設置することが望ましいと考える。消防団、消防署、婦人防火クラブが防災訓練、各地区や施設の訓練などで消火器を使った初期消火訓練を通じて普及率向上に努める。

山本市長

カスハラ対策及び職員のパライバシー保護を目的として名札の表記方法の検討は考えるか。市の見解は。

山本市長



小島直也 議員

### 質問 市の将来像を描く視点が必要と考えるが

### 答弁 市民が主体的に意見・提言の機会を創出する

持続可能な街づくりのために、「フューチャーデザイン」を取り入れて数十年前を見据えた様々な話し合いが必要と考える。数十年前の将来を描く視点が重要と考えるが、市長の見解は。

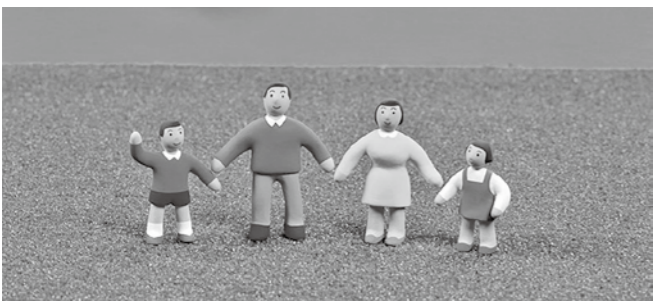
山本市長

自治基本条例において、まちづくりの基本を「参画と協働」と定め、市民が主体的に参加し協力してまちづくりに取り組んでいく。諮問機関である「宮古市総合計画審議会」を設置して30名の委員がいる。構成は50歳以下が53・3%、女性が36・7%の割合で様々な立場の視点を期待している。

変化が期待され、将来の投票参加率向上に繋がるものとする。市の見解は。

山本市長

若年層の関心を高めるため、高校生の協力を得て選挙啓発放送を録音し、市内全域に放送した。結果、18歳の投票率が18・72ポイント向上した。さらに、未就学児の保護者などが、投票所に足を運びやすくなるような環境改善について、研究を深め、取り組みを推進していく。



皆で宮古市の将来を思い描いてみましょう!

### 質問 キャトル跡地開発の進捗状況について

### 答弁 賑わい、収益性、公共・公益性、継続性を考えとして計画を進めている

宮古市の顔となる駅前開発について、未広町の無電柱化を含めて、宮古市の中心地の経済活動の活性化や、交流人口の増加など本市として臨むべき駅前、中心地開発の中で、キャトル跡地の活用は今後も重要なことと認識している。現段階で利活用の展望はどのようなものが想定されているのか。

山本市長

跡地開発の検討にあたっては、賑わい、収益性、公共・公益性、継続性を基本的な考えとして身の丈にあった計画になるよう進め、具体的な内容は市民の皆様の見解を確認した上で検討を進めていく。

宮古市の人口減少に対する政策について

山本市長

宮古市は学生の進学率が約65%、就職率が約35%であり、その内の管内就職は35%の中の一部のようであるが、宮古市の人口減少は市外移住や、亡くなる方の人数に對し出生数の少なさが原因であると認識している。今後の宮古市の出生数を増やす事と、移住定住したくなる街がでないことには人口減少を止めることはできないと思う



にぎわいが求められる公共施設





白石議員の一般質問動画はこちら

### 質問 本年クルーズ船が9隻寄港する乗客動向の把握が必要ではないか

### 答弁 経済効果拡大を目指し動向把握と分析をおこない、対応改善していく

**問** 今年度、9隻のクルーズ船が寄港するが乗客定員や時期、停泊時間などに差がある。乗客の動向把握が必要では。

**答** 山本市長 クルーズ船受入対応では客層やオプショナルツアーの予定、他港での状況などを事前に収集しバスの運行やタクシーの配車、通訳ガイド等の配置の参考にしている。

寄港日も通訳ガイドや巡回スタッフから情報を収集し、状況に応じバスの増便や通訳ガイドの配置変更などをしている。

寄港後も従事したスタッフや関係団体や施設などから状況を聞き、乗客の動向把握をしながら通訳ガイドの配置や人数、藤原ふ頭内や宮古駅前案内について見直しをしている。

商店街との意見交換や各種団体の協力を得ながら商店街へ誘導し、乗客らがストレスなく宮古の観光や買い物を楽しみ、経済効果も拡大できるよう今後も動向把握と分析をし、受入対応改善に繋げていく。



乗客定員が3,560名、乗組員が1,350名のロイヤル・プリンセス

### 質問 自転車利用に関する条例制定について

### 答弁 保険・ヘルメット着用義務も含め進める

**問** 令和5年4月1日から道路交通法の一部改正により、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化された。

**答** 山本市長 全国32の都府県では賠償責任保険の加入も含め義務化を条例で定めているが、岩手県は未だに努力義務に留まっている。事故により死亡した約7割が頭部外傷で、非着用時の死亡率は2.7倍となっている。時には加害者になるケースもあり、被害者に対して9000万円以上の支払い命令が下された例もある。自転車の安全利用、更に市民の生命と財産を守る意味でも県に先行して条例を定めることが必要だと考えるがどうか。

**問** 学童の家の利用条件について

**答** 山本市長 近年、条例で定めている自治体が増えている。保険加入、ヘルメット着用の徹底は必要な対策であるため、条例制定について今後、警察・関係機関と協議し、取り組みを進めていきたい。



ヘルメットはかぶりましょう

**問** 宮古港クルーズ船おもてなしサポーターズなどの協力団体は多言語対応が難しいと感じる。

**答** 山本市長 クルーズ船歓迎事業の出店要項では商品名や値札は英語と日本語で表記することを定め、商品説明も英語表記を推奨し、宗教上などの理由で飲食制限がある方に向け使用食材の表示もお願いしている。

クルーズ船の歓迎事業に限らず、商店街などにおいても訪日外国人向けの商品説明などの表示は必要であると考えます。

多言語対応二次元コードも含め、新技術や表示方法の情報提供、英語表記サポートなど関係団体等と協力を得ながら進めていく。



田中議員の一般質問動画はこちら

### 質問 「消滅可能性都市」対策について

### 答弁 地元就業での所得格差が課題

**問** ①人口減少原因とされる20歳から39歳以内の女性等の減少について市長の見解は。

**答** 山本市長 ①若年世代の人口減少は、出生数の減少に大きく影響し、男性・女性ともに、この世代の人口減少に歯止めが不可欠だ。

②市民所得の状況からも若年世代の地元就業での所得格差が本市の課題と認識。

③産業分野では、地域産業の魅力発信と、雇用の確保が重要な課題であり、一昨年度から20代以下の若者が就職の際に「若者就職活動支援補助金」で支援。その他、地元企業への関心策に体験型イベントを開催、モノづくりの魅力を広く発信し、賃上げを行った中小企業に給付金を支給する県の「物価高騰対策賃上げ支援金制度」の活用へ現在、市内事業者に周知を図っている。



旧市庁舎跡地の公園で楽しむ子育て世代

**問** 「廃校」利活用へ、普通財産への転用状況及び事業促進へ、専任の担当窓口の設置が必要と考えるが。

**答** 山本市長 現在「廃校舎」は避難所や利用事例から、解体までの間、行政財産と貸付や売却を促す普通財産に分け、管理。普通財産は7施設で、民間事業用途が3施設、地域スポーツ用途が1施設、未利用施設が3施設である。専任窓口は、これまでも契約管財課で、民間と連絡調整は、産業振興部等の関係部署が担い、対応できている。



西村議員の一般質問動画はこちら

### 質問 水道有収率向上は重要緊急課題

### 答弁 有収率向上には時間とコストがかかる

**問** 有収率を高めるには、老朽化した管路更新が重要である。市の有収率は78.31%で県平均84%、全国平均の89.76%より低い状況である。有収率向上へ盛岡市は、漏水対策で「衛星画像AIによる漏水調査」をすでに行っているがこの手法も重要で、採用を検討すべきと思うが市長の見解を伺う。

**答** 山本市長 管路更新費用は単独事業費と一般会計の繰り入れで行っている。6年度は漏水調査に440万円、漏水修繕に2240万円、老朽管更新に1億520万円計上している。有収率向上にはコストと時間がかかる。衛星画像AIによる漏水調査は海外企業が開発し令和2年に愛知県豊田市が採用後70余りの自治体が導入している。県内では盛岡市が実証試験を行っている。検証結果を参考により良い方法を選定していく。



落合議員の一般質問動画はこちら

### 質問 水道有収率向上は重要緊急課題

### 答弁 有収率向上には時間とコストがかかる

**問** 大震災後誘致された企業は2社、増設は数社という状況である。過日視察した久慈市の震災後の企業誘致数は7社だが、震災

**答** 山本市長 令和4年度からソフト支援は産業支援センターが、ハード支援は企業立地課が担当している。企業訪問、工場見学等、情報交換と要望の聞き取りを行っている。私自身も企業訪問、見学等を行い信頼関係の構築に努めている。



漏水対策は有収率向上の要



## 〈田代勝久 議員〉

調査請求の対象となる事由	宮古市議会議員政治倫理条例第3条第1項第1号（※1）違反
内 容	令和6年3月31日未明、市内飲食店内において同席していた一般市民に対し言いがかりをつけ、一方的に暴力行為を行った。 後日、被害者から被害届が宮古警察署に出され、刑事事件として捜査が行われたものである。
審査の結果	宮古市議会議員政治倫理条例第3条第1項第1号の規定に違反していると判断する。
理 由	令和6年6月7日の審査会において、田代勝久議員から調査請求内容の弁明があり、「今回の件は大筋で認めたい」「行為も一方的であった」などの発言があった。 令和6年6月20日の審査会において、被請求議員が調査請求のあった行為を認めていることから、全会一致で政治倫理基準違反の行為であったと判断した。

## 〈工藤小百合 議員〉

調査請求の対象となる事由	宮古市議会議員政治倫理条例第3条第1項第1号違反
内 容	令和6年4月8日午前、小学校の入学式に出席案内がなかったことに腹を立て、小学校に出向き威圧的な発言をし、「今後学校に対し協力はいっさいしない」と発言した。翌日、学校長は工藤議員宅を訪問し、経緯を説明しようとしたが工藤議員は学校長の話も聞かず、前日同様の暴言、行動があったとのことである。このことに関しては、学校側から宮古市教育委員会に報告があり、さらに議会には教育委員会から報告があったとのことである。
審査の結果	宮古市議会議員政治倫理条例第3条第1項第1号の規定に違反していると判断する。
理 由	令和6年6月7日の審査会において工藤議員から調査請求内容の弁明があり、「入学式になぜ呼ばないのか」とは言っていない、「入学式はいつなんですか」と聞いたなど、丁寧に対応したと説明があった。令和6年6月13日の審査会においてその他関係人の事情聴取として小学校校長から補足説明があり「入学式はいつか」「議員は呼ばないのか」と議員から質問があった。「質問の途中から声が大きくなり、職員室の奥まで響くような大きな声であった」「職員室にいた副校長ほか教職員2名がお怒りであったとの受け止めであった」と、副校長ほか教職員2名から聞き取った内容の説明があった。 令和6年6月20日の審査会において工藤議員の説明と学校側の説明の齟齬について整理し、受け止めた側の学校が「議員は呼ばないのか」「地域貢献していないから呼ばないのか」の発言が議員の立場の発言と捉えていること。さらに職員室にいた副校長ほか教職員2名が「お怒りであった」と受け止めていることなど、学校が対応に苦慮した状況が伝わったことから、市民全体の代表者である議員として政治倫理基準に違反していると判断した委員が5名、判断できないとした委員が2名であった。 令和6年6月27日の審査会において、全会一致で政治倫理基準に違反すると判断した。

## 議員2名が政治倫理基準に違反すると判断

## ～お詫び～

この度の議員が起こした市民への暴力行為、小学校現場における不適切な対応の事案に対し、議会としてお騒がせしていますことに改めてお詫び申し上げます。暴力によって被害を受けられた市民の方に対し、議会を代表し心より謝罪いたします。  
また、一連の事案について宮古市民の皆様へ深くお詫び申し上げます。  
議員は市民全体の代表者として、高い倫理的義務が課せられていることを常に自覚し、市民の疑惑を招くことがないよう、良心と責任を持って行動しなければならないと規定されています。  
今後、こうしたことが二度と起きないように議員自らが自分を律し政治倫理の遵守を徹底し、市民の皆様との信頼関係の確立を図って参ります。  
この度は大変申し訳ございませんでした。

宮古市議会議長 橋本久夫

## 宮古市政治倫理審査会の設置と審査結果

令和6年5月24日に、田代勝久議員及び工藤小百合議員の行動が、宮古市政治倫理条例に違反する恐れがあるとして、議長へ政治倫理調査請求書の提出がありました。請求者は次の通りです。

## 宮古市議会議員政治倫理調査請求者（条例で6人以上の議員からの請求が必要と定められている）

氏 名	会 派 名	氏 名	会 派 名
◎落合 久三	日本共産党	畠山 智章	みやこ未来推進クラブ
中嶋 勝司	みやこ未来創造クラブ	小島 直也	公明党
伊藤 清	みやこ未来創造クラブ	高橋 秀正	みやこ未来創造クラブ

◎は請求代表人

これを受けて、令和6年5月30日に議会運営委員会において、政治倫理審査会の設置が承認され、委員が選任されました。委員の一覧は、以下の通りです。

## 宮古市議会議員政治倫理審査会委員（条例で委員の定数は8名と定められている）

氏 名	会 派 名	氏 名	会 派 名
◎田中 尚	日本共産党	○長門 孝則	無所属クラブ
古館 博	宮古創生会	白石 雅一	みやこ未来推進クラブ
西村 昭二	みやこ未来創造クラブ	鳥居 晋	宮古創生会
松本 尚美	無所属クラブ	竹花 邦彦	立憲・市民クラブ

◎は委員長、○は副委員長

審査の結果、委員の全会一致で、宮古市議会議員政治倫理条例に違反するものと認定し、議長に審査結果を報告しました。令和6年7月5日に議員全員協議会を開催して、議長から審査結果の報告を行いました。内容は次の通りです。



# 今後について

今後は、宮古市議会議員政治倫理条例第11条第1項（※2）の規定により被請求議員自らが、審査結果を尊重し、必要な措置を講じなければならない。また、同条第2項（※2）の規定により、被請求議員が自ら必要な措置を講じないときは、議会が必要な措置を講ずるものである。

## 一条文について

※1 宮古市議会議員政治倫理条例第3条第1項第1号の条文は下記の通りです。

（政治倫理基準）

第3条 議員は、次に掲げる政治倫理基準を遵守しなければならない。

- (1) 市民全体の代表者として、その品位と名誉を損なう一切の行為を慎み、その職務に関し不正の疑惑をもたれるおそれのある行為をしないこと。

※2 宮古市議会議員政治倫理条例第11条の条文は下記の通りです。

（審査結果の措置）

第11条 被請求議員は、自己に関する審査会の審査結果の報告において、自己の行為が政治倫理基準に違反している旨の指摘がなされたときは、これを尊重して、政治倫理の確保のために必要な措置を講じなければならない。

- 2 議会は、被請求議員が前項の措置を自ら講じないときは、議会の名誉と品位を守り、市民の信頼を回復するため、必要な措置を講ずるものとする。



## 産業建設常任委員会 「企業誘致」「水道の有収率向上」について視察を行いました

産業建設常任委員会では5月14日に久慈市と青森県階上町を訪問し、「企業誘致について」視察を行いました。翌15日は盛岡市と岩手県中部水道企業団を訪問し、「水道有収率の向上について」視察を行いました。

●「企業誘致について」  
久慈市は宮古市と同様に山林が多く平地が少ないといった企業誘致をする上で、決して好条件と言えない地域ですが、東日本大震災以降に7社の企業誘致をしています。今回の視察では、立地場所の事前準備、企業と行政の信頼関係構築の必要性、県や他団体との人脈の構築の重要性を改めて認識しました。

●青森県階上町では、閉校した廃校舎を活用した企業誘致を町の施策として取り組んでいます。階上町の企業誘致における強みは、充実した企業支援制度であり、学ぶべきものが多いと感じられました。

●「水道有収率の向上について」  
盛岡市の有収率は令和5年度実績で県内1位の93・3%となっており、宮古市の78・1%と比較するとかなりの開きがあります。盛岡市が行っている主な取り組みは、計画的な老



久慈市で企業誘致について説明を受ける産業建設常任委員会委員

朽管更新と人工衛星を活用した調査による漏水可能性区域の洗い出しによる漏水発見効率の向上等最新技術を導入したものでした。

●岩手県中部水道企業団の危機管理センターは、平常時は水道施設の維持管理や工事、水質検査等の品質管理が行われていますが、地震や集中豪雨による自然災害や停電、管路・施設の老朽化を原因とした大規模断水、水質事故等、多様化する危機管理事業にも対応する施設となっています。また、災害等の非常時に応急復旧活動が迅速に行えるよう、災害対策本部室や執務室、応急事業体の活動スペース、非常用電源施設が備えられた危機管理の拠点施設となっています。



## 議会モニターへ委嘱状を交付

令和6年度、第1回目となる議会モニター会議が5月29日に開催され、7名の議会モニターの皆様にご出席いただきました。冒頭、「委嘱状交付式」として、橋本議長からモニターの皆様へ委嘱状が交付されました。また、会議の後半は、久慈市出身で「一般社団法人地方公共団体政策支援機構」上席研究員、本市議会のアドバイザーを務める長内紳悟先生を講師としてお招きし、「議会モニターについて」という題目でご講演いただきました。



本市議会アドバイザーの長内紳悟氏

事前検証し、9月議会の前年度決算の審議を通じて、前年度の事業の事後検証を行うサイクルがあり、このサイクルを通じて政策の監視と評価が行われている」と解説。「議会モニターには、政策を監視して、政策を評価して、政策を立案して、政策を提言することもやってほしい」との指摘がなされました。



令和6年度議会モニターの皆様と議会運営委員会委員

## 全国市議会議長会表彰 3名の議員受賞



左から 鳥居議員、白石議員、田中議員

全国市議会議長会から本市議会の3名の議員が、表彰を受けました。被表彰者は次のとおりです。

●議員在職50年表彰

田中 尚議員

（初当選・昭和49年3月）

●議員在職10年表彰

白石 雅一議員

（初当選・平成26年5月）

鳥居 晋議員

（初当選・平成26年5月）

おめでとうございます。

## 編集後記



編集委員長 今村 正

新型コロナウイルスによる感染症対策も峠を越えて、昨年5月から季節性インフルエンザ等と同じ5類に移行しました。亡くなられた方々に心からお悔やみ申し上げます。また、未だに後遺症に苦しむ方々もいると聞いています。感染対策は個人の判断に委ねられましたが、生命尊厳の観点から決して感染症を甘く見ることなく、市民の健康を皆で作りに上げていきたいと思います。

この度は、政治倫理基準違反となる事案が起きました。今後は二度とあってはならない行為であると皆で反省しています。議員自ら定めた市議会議員政治倫理条例を肝に銘じて、各自が襟を正し市民の公僕として、職務を遂行してまいります。市民の皆様には変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

## 議会広報編集委員会

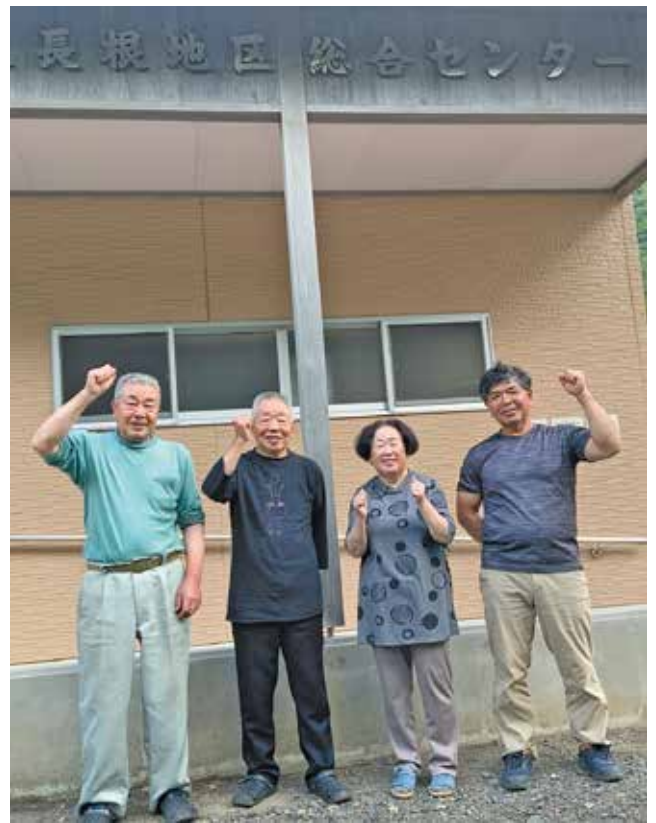
- 委員長 今村 正
- 副委員長 島山 智
- 編集委員 田代 勝
- 古舘 久
- 木村 誠
- 小島 直也





今回は新里(茂市)地域地区の太長根地区総合センターの話題をお伝えします。

今定例会議において、補正予算として計上されて認められた地域振興費ですが、市民活動を推進するために拠出される助成金です。



太長根自治会の皆さん

自治会長 17世帯、40人しかいない小さな町内会ですが結束力が強く、みんなが心ひとつに地域のことを良くしようと頑張っています。1年前、皆のことを思っ

て遠慮しながら申請をしたのですが、市の職員の助言もいただき、「一年を通してあれば助かるな」そんな思いでエアコン以外にも、欲しい道具を項目に盛り込

みました。それが県の審査を通ったと聞いて皆で喜びました。——凄いですね。皆の強い思いが通じたんですね。自治会長 前日も草刈り作業に皆が出て汗をかいたんですよ。普段から生活環境の整備は皆が率先してやっ

たんですか。経緯で申請に至ったんですね。自治会ではないです。——太長根自治会は決して大きい自治会ではないです

——とても綺麗ですね。張り替えを皆でしたんです。女性の皆さんで「りんどうの会」を作って様々な勉強、活動をしています。夏の暑さや冬の寒さに負けずに、活動がコロナ禍前に戻れるように願っていたので、エアコンの設置が本当にうれしいです。

——今回整備する様々な器材を収納する倉庫の設置も予定に入っているんですね。自治会長 支障木を切るための高枝用のチェーンソーや、枯葉の掃除に使うブロワーなどもそろえるところですが、皆が地域のことをよく考えて努力を惜しまないんです。——凄いですね。先祖代々暮らしているこの地区で何か困りごとは。4人皆で 台風10号の時、センターも床上浸水になりました。災害時の住民の連携には自信がありますが、閉伊川、刈屋川の河川管理に力を入れてほしいです。ここ数年間何も進んではないんです。また、若い世代が宮古で暮らしていけるように、市民の年収アップのための政策を市議会議員には頑張っ